

## 安全データシート(SDS)

### 1. 製品および会社情報

製品名 : NRプライマーM  
会社名 : 三ツ星ベルト株式会社  
住所 : 神戸市長田区浜添通4丁目1-21  
担当部門 : 建設資材事業部 技術・生産部  
電話番号 : 078-682-3379  
FAX番号 : 078-685-5681  
作成日 : 2017年10月2日  
改定日 : 2020年2月7日  
整理番号 : K-917

### 2. 危険有害性の要約

#### 【GHS分類】

物理化学的危険性  
引火性液体 : 区分2

健康有害性  
急性毒性 経口 : 区分外  
経皮 : 区分外  
吸入; ガス : 分類対象外  
吸入; 蒸気 : 区分4  
吸入; 粉じん、ミスト : 区分3

皮膚腐食性/刺激性 : 区分外  
眼に対する重篤な損傷/眼刺激性 : 区分2B  
呼吸器感作性 : 分類できない  
皮膚感作性 : 区分外  
生殖細胞変異原性 : 区分外  
発がん性 : 分類できない  
生殖毒性 : 分類できない  
特定標的臓器毒性 (単回ばく露) : 区分3 (気道刺激性、麻酔作用)  
特定標的臓器毒性 (反復ばく露) : 区分外  
吸引性呼吸器有害性 : 分類対象外

環境有害性  
水生環境有害性 (急性) : 区分外  
水生環境有害性 (慢性) : 区分外  
オゾン層に対する有害性 : 分類できない

#### 【GHSラベル要素】

[絵表示またはシンボル]



[注意喚起語]

危険

[危険有害性情報]

引火性の高い液体及び蒸気

吸入すると有毒  
眼刺激  
呼吸器への刺激のおそれ  
眠気又はめまいのおそれ

[注意書き]

[安全対策]

- ・熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。ー禁煙。
- ・容器を密閉しておくこと。
- ・容器を接地すること/アースをとること。
- ・防爆型の電気機器/換気装置/照明機器等を使用すること。
- ・火花を発生させない工具を使用すること。
- ・静電気放電に対する予防措置を講ずること。
- ・粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。
- ・取扱い後はよく手を洗うこと。
- ・屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。

[応急措置]

- ・皮膚(又は髪)に付着した場合:直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を流水/シャワーで洗うこと。
- ・火災の場合:消火するために適切な消火方法をとること。
- ・吸入した場合:空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- ・医師に連絡すること。
- ・眼に入った場合:水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。
- ・眼の刺激が続く場合:医師の診断/手当てを受けること。

[保管]

- ・換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。
- ・施錠して保管すること。

[廃棄]

- ・内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

### 3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別 : 混合物  
化学名又は一般名称 : プライマー

化学名又は一般名称	含有量(%)	官報告示整理番号	CAS No.	化管法	安衛法 通知対象物質
		化審法			
ウレタン樹脂	25-35	あり	—	該当しない	—
酢酸エチル	65-75	2-726	141-78-6	該当しない	177号
酢酸ブチル	5未満	2-731	123-86-4	該当しない	181号

### 4. 応急措置

#### 吸入した場合

新鮮な空気のある場所へ移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。  
気分が悪い時は医師を呼ぶこと。

#### 皮膚に付着した場合

直ちに、すべての汚染された衣類を脱ぎ取り去ること。  
水又は適温の流水で洗浄した後、石鹸を用いてよく洗い落とす。  
気分が悪い時は医師を呼ぶこと。  
脱いだ衣類を再使用する前に洗濯し汚染除去すること。

皮膚刺激があれば、医師の診断、手当てを求めること。

#### 目に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズ着用の場合、容易に外せる場合は、外すこと。洗浄を続けること。

眼の刺激が持続する場合は、医師の診断、手当を受けること。

#### 飲み込んだ場合

気分が悪い時は医師を呼ぶこと。

口をすすぐこと。ただし意識の無い場合には、口から何も与えてはいけない。

嘔吐が自然に起こった時は嘔吐物が気管に入らないよう身体を斜めにする。

## 5. 火災時の措置

### 適切な消火剤

小火災：二酸化炭素、粉末消火剤、散水、耐アルコール性泡消火剤

大火災：散水、噴霧水、耐アルコール性泡消火剤

### 使ってはならない消火剤

棒状注水

### 特有の危険有害性

火災によって刺激性、毒性及び／又は腐食性のガスを発生する恐れがある。

極めて燃え易い、熱、火花、火炎で容易に発火する。

加熱により容器が爆発する恐れがある。

引火性の高い液体及び蒸気。

### 特有の消火方法

消火のための放水等により、環境に影響を及ぼす物質が流出しないように適切な処置を取る。

大規模火災には、泡消火剤を用いて空気を遮断する。

引火点が極めて低い、または消火の効果が無い恐れがある場合は、容器または周囲に散水して冷却する。

危険でなければ火災区域から容器を移動する。

移動不可能な場合、容器及び周囲に散水して冷却する。

消火後も、大量の水を用いて十分に容器を冷却する。

### 消火を行う者の保護

消火作業の際は、空気呼吸器を含め適切な化学保護衣を着用する。

## 6. 漏出時の措置

### 人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置

作業者は適切な保護具（8. ばく露防止及び保護措置の項を参照）を着用し、眼、皮膚への接触やガスの吸入を避ける。

漏洩物に触れたり、その中を歩いたりしない。

直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。

関係者以外の立入りを禁止する。

漏洩しても火災が発生していない場合、密閉性の高い、不浸透性の保護衣を着用する。

風上に留まる。

低地から離れる。

密閉された場所に入る前に換気する。

### 環境に対する注意事項

排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

河川等に排出され、環境へ影響を起ささないように注意する。

### 回収、中和

少量の場合、乾燥土、砂や不燃材料で吸収し、あるいは覆って密閉できる空容器に回収する。

後で廃棄処理する。

少量の場合、吸収したものを集めるとき、清潔な帯電防止工具を用いる。  
大量の場合、盛土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いて回収する。  
大量の場合、散水は、蒸気濃度を低下させる：しかし、密閉された場所では燃焼を抑えることが出来ない恐れがある。

#### 封じ込め及び浄化方法と機材

危険でなければ漏れを止める。  
漏出物を取扱うときに用いる全ての設備は接地する。  
蒸気抑制泡は蒸発濃度を低下させるために用いる。

#### 二次災害の防止策

すべての発火源を速やかに取除く（近傍での喫煙、火花や火炎の禁止）。  
関係箇所に通報し応援を求める。

## 7. 取り扱い及び保管上の注意

### 取扱い

#### [技術的対策]

保護手袋、衣類及び眼、顔面用の保護具を着用すること。  
周辺での高温物、スパーク、火気の使用を禁止する。ー禁煙。  
防爆型の電気、換気、照明機器を使用すること。  
静電気放電に対する予防措置を講ずること。  
蒸気の発生源を密閉する設備または局所排気装置を設ける。  
この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。  
容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、または引きずるなどの取扱いをしてはならない。  
静電気対策を行う。作業着、作業靴は導電性のものを用いる。  
取扱い作業場の電気設備は、防爆構造とし、機器類は接地する。

#### [局所排気・全体換気]

蒸気の発生源を密閉する設備または局所排気装置を設ける。

#### [安全取扱い注意事項]

接触、吸入または飲み込んではいない。  
取扱い後はよく手を洗うこと。  
蒸気を吸入しないこと。  
屋外または換気の良い区域でのみ使用すること。

### 保管

#### [技術的対策]

熱、火花、裸火のような着火源から離して保管すること。ー禁煙。  
容器を密閉して換気の良いところで貯蔵すること。

#### [保管条件]

冷所、換気の良い場所で貯蔵すること。  
酸化剤から離して保管する。  
容器直射日光や火気を避けること。  
指定数量以上の危険物は、貯蔵所以外の場所でこれを貯蔵してはならない。  
施錠して貯蔵すること。

## 8. ばく露防止及び保護措置

### 管理濃度

酢酸エチル：200ppm

酢酸ブチル：150ppm

### 許容濃度

ACGIH（2005年版）TLV-TWA

酢酸エチル：400ppm

酢酸ブチル：150ppm  
日本産業衛生学会（2005年版）  
酢酸エチル：200ppm  
酢酸ブチル：100ppm

#### 設備対策

防爆型の電気、換気、照明機器を使用すること。  
静電気放電に対する予防措置を講ずること。  
蒸気の発生源を密閉する設備または局所排気装置を設ける。

#### 保護具

呼吸器の保護具：必要に応じ呼吸器保護具を着用すること。  
手の保護具：保護手袋を着用すること。  
眼の保護具：眼の保護具を着用すること。  
皮膚及び身体の保護具：作業着等を着用すること。

### 9. 物理的及び化学的性質

#### 外観

物理的状态：液体  
色：淡黄色透明  
臭い：溶剤臭  
pH：該当せず  
融点／凝固点：データなし  
沸点、初留点と沸騰範囲：初留点>35℃  
引火点：-3.9℃  
燃焼又は爆発範囲の下限、上限：データなし  
蒸気圧：データなし  
蒸気密度：データなし  
比重（密度）：1.0  
溶解度：有機溶剤に可溶  
n-オクタノール／水分配係数：データなし  
自然発火温度：200℃以上  
分解温度：データなし  
臭いのしきい値：データなし  
蒸発速度：データなし  
燃焼性（個体、気体）：データなし  
蒸気密度：データなし  
粘度（粘性率）：データなし

### 10. 安定性及び反応性

#### 反応性、化学的安定性

安定性：常温では安定  
反応性：水、アミン等と反応する。  
避けるべき条件：水、アミン等の活性水素  
混触危険物質：水、アミン等の活性水素  
危険有害な分解生成物（一酸化炭素、二酸化炭素、水以外）：窒素化合物

### 11. 有害性情報

#### 急性毒性

	経口	経皮	吸入（ガス）	吸入（蒸気）	吸入（ミスト）
酢酸エチル	区分外	区分外	分類対象外	区分4	分類できない

	4,940 mg/kg	18,000 mg/kg		13.17 mg/L	
酢酸ブチル	区分外 14,130 g/kg	区分外 5,000 mg/kg	分類対象外	区分 3 2,000 ppm(9.6 mg/L)	区分 3 0.74 mg/L

急性毒性 経口	: 区分外
急性毒性 経皮	: 区分外
急性毒性 吸入 (ガス)	: 分類対象外
急性毒性 吸入 (蒸気)	: 区分 4 (酢酸エチル: 区分 4、酢酸ブチル: 区分 3)
急性毒性 吸入 (粉塵、ミスト)	: 区分 4 (酢酸ブチル: 区分 3)
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	: 区分外
眼に対する重篤な損傷又は眼刺激性	: 区分 2 (酢酸エチル: 区分 2 B、酢酸ブチル: 区分 2 B)
呼吸器感作性	: データなし
皮膚感作性	: 区分外
生殖細胞変異原性	: 区分外
発がん性	: データなし
生殖毒性	: データなし
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	: 区分 3 (気道刺激性、麻酔作用) (酢酸エチル: 区分 3 (気道刺激性、麻酔作用)、酢酸ブチル: 区分 2 (呼吸器、中枢神経系))
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	: 区分外
吸引力呼吸器有害性	: 分類対象外

## 1 2. 環境有害情報

### 生態毒性

水生環境急性有害性	: 区分外
水生環境慢性有害性	: 区分外
残留性/蓄積性	: データなし
生態蓄積性	: データなし
土壤中の移動性	: データなし
オゾン層への有害性	: データなし

## 1 3. 廃棄上の注意

### 残余廃棄物

廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。

都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。

### 汚染容器及び包装

容器は性状にしてリサイクルするか、関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。

空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

## 1 4. 輸送上の注意

### 陸上、海上、航空の国際規制及び国内規制

#### 国際規制

国連分類	: クラス 3
国連番号	: 1133 (接着剤)
容器等級	: II
緊急時応急指針	: 128

仕向け地の法律に従う。

MARPOL 73/78 付属書II 及び IBC コードによるばら積み輸送される液体物質

#### 国内規制

陸上輸送：消防法に定められている輸送方法に従う。

海上輸送：船舶安全法に定められている輸送方法に従う。

航空輸送：航空法に定められている輸送方法に従う。

### 15. 適用法令

国内法令名称、規制

化管法 (PRTR 法)	: 該当しない
労働安全衛生法	
危険物	: 引火性の物
有機則	: 第二種有機溶剤等
特化則	: 該当しない
表示対象物質	: 酢酸エチル (政令番号 177) 酢酸ブチル (政令番号 181)
通知対象物質	: 酢酸エチル (政令番号 177) 酢酸ブチル (政令番号 181)
毒物劇物取締法	: 該当しない
消防法	: 第4類第1石油類 非水溶性液体
船舶安全法	: 引火性液体類
航空法	: 引火性液体

### 16. その他の情報

参考資料

- 1) 化学部室の危険・有害性便覧 (中央災害防止協会)
- 2) 有機溶剤作業主任者テキスト (中央災害防止協会)
- 3) 許容濃度等の勧告 (2005年、日本産業衛生学会)
- 4) ACGIH(2005年、日本作業環境測定学会)

本安全データシート (SDS) は、現時点で入手できた資料、データに基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。また、SDS 中の注意事項は通常の取扱いを対象にしたものです。製品使用者が特殊な取扱いをされる場合は、用途、使用法に適した安全対策を実施の上、製品を使用して下さい。また、当社は、SDS 記載内容について十分注意を払っていますが、その内容を保証するものではありません。